

令和3年度
U・Iターン促進キャンペーン事業業務委託

業務仕様書

令和3年5月
岩手県

この仕様書は、岩手県（以下「県」という。）が実施する「令和3年度U・Iターン促進キャンペーン事業業務」（以下「本業務」という。）に関し、県が契約する事業者（以下「受託者」という。）に要求する本業務の仕様を明らかに示すものである。

1 本業務の概要

(1) 現状と課題

人口減少が進み、全国的に人手不足が深刻化する中、本県では、北上川流域において、ものづくり（自動車・半導体）、IT関連産業の集積に伴い、今後の岩手の多様な産業を担う人材の確保が急務であること、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、若者の地方への移住への関心が高まっていることから、若者が岩手で働くこと、暮らすことを選択する新たな人の流れを作る必要がある。

(2) 目的

これから進路を考える高校生や県外の高等教育機関で就学する学生をはじめとした多くの若者、関係する方々に、岩手で働き、暮らす環境がいかに素晴らしいかを認知していただくことで、高校生の県内定着や若者のU・Iターンの促進に繋げること。

(3) 基本コンセプト

次の事項を基本コンセプトとし、ターゲットに対し訴求力の高い雑誌を制作する。

なお、これらのコンセプトを踏まえた雑誌を制作するに当たり、「若者が手に取りたくなる」、「ページを捲りたくなる」工夫を行うこととし、当該工夫も含め、企画内容を提案すること。

ア 「いわての可能性」を知る

岩手県の北上川流域の産業集積、スマート農業や企業におけるICT活用の推進などの岩手の産業の最新情報の紹介を通じ、岩手の産業の可能性を伝える。併せて、岩手の魅力や岩手の持つポテンシャルの紹介などを行い、ローカルの可能性を知ってもらう。

イ 「いわて企業の偉力」を感じる

岩手県民なら誰も耳にしたことがある企業や高校生が日常的に接する身近な企業の「働く」側面を伝えるとともに、地域に貢献している企業や海外に販路を拡大している企業、日本で唯一のものづくりやサービス提供を行っている企業など、多様な職種の県内企業を多面的に深堀りし、岩手の企業を幅広く伝え、岩手の企業のすごさを感じてもらう。

ウ 「いわてで働き・暮らす日常」を想像する

岩手暮らしを楽しむ若者や大都会と遜色のない働き方を実践している若者の日常生活を取り上げ、「岩手で働く未来の自分」をイメージするとともに、岩手で働き・暮らす優位性を伝える。

2 仕様等

本業務の範囲は次のとおりとし、具体的な内容は提案事項を基本とする。

(1) 情報誌の制作・販売

若年層の県内就職と岩手へのU・Iターンを促進するため、「いわての可能性」を知る、「いわて企業の偉力」を感じる、「いわてで働き・暮らす日常」を想像する」を基本コンセプトとして、「岩手で働き、暮らす」ことを総合的に紹介する情報誌を制作、販売して情報発信を行う。

ア 情報誌の仕様

(ア) 発行主体

県、受託者

(イ) タイトル

本事業の目的、基本コンセプト、提案する内容にあったタイトルを提案すること。

(ウ) 作成する情報誌の種類

- ・有料販売版（県外の若者向け）と無料配付版（県内高校生向け）の2種類を製作する。
- ・無料配付版は、県と協議の上、有料販売版から項目を抜粋するなどして製作する。

(エ) 規格及び発行部数（41,000部以上）

次の内訳のとおり発行する。

- ・無料配付分 B5以上A4以下、カラー60ページ程度、37,000部を制作すること
- ・有料販売分 B5以上A4以下、カラー60ページ以上、4,000部以上を制作すること（1,000部を県に納入し、3,000部以上は受託者において販売することとし、販売に当たっては、県内に加え、県外在住の若者が購入しやすい方法を提案すること。）
- ・有料販売分は、無料配付分の内容を基本とし、ページ増や付録など、有料版としての付加価値をつける企画を提案すること。

※ 有料販売分について、県と協議の上委託事業者の経費負担により増刷し販売することを妨げない。

(オ) 構成内容

- ① 1(3)ア～ウを基本コンセプトとし、県内の企業の紹介等を通して、高校生の県内定着や若者のU・Iターンの促進につながる内容とすること。
- ② 主な構成イメージは次の参考例のとおり。
- ③ 高校生が身近に岩手の企業を感じることができるよう、例えば、高校生による県内企業研究（例：いわてで働こう推進協議会が実施する「未来のワタシゴト創造プロジェクト※」等）の様子を取材し、掲載したり、高校生が企業紹介ページの取材等に関わるなどの仕掛けを企画し、事業の一部に反映させること。

※ 【参考】 令和2年度「未来のワタシゴト創造プロジェクト」実施概要

<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/koyouroudou/1009395/1022222.html>

- ④ 項目間の連携、相乗効果を意識するとともに、「若者が手に取りたくなる」、「ページを捲りたくなる」ような工夫を凝らした企画を提案すること。

なお、おおよそのイメージを伝えるため、次のとおり参考例を示すが、当該参考例にとらわれることなく、基本コンセプト及び上記仕様に基づき、本事業の目的にかなう提案を求めるものであること。

〈参考例〉

項目	狙い	内容(案)
目玉記事	いわての可能性	・岩手の魅力を語ってもらうインタビュー記事 ・若者の目を引く企画等 なお、特に目玉記事は「若者が手に取りたくなる」、「ページを捲りたくなる」よう、著名人の活用などの工夫を行う。
岩手の多様な企業の紹介	いわての可能性 いわて企業の偉力	・岩手県の北上川流域の産業集積、スマート農業や企業におけるICT活用の推進などの岩手の産業の最新情報の紹介 ・本県に本社を有する身近な企業や全国的にも著名な企業など、多様な職種の県内企業を多面的に取り上げ、幅広く県内企業を知ってもらう (例) ・岩手県民なら誰しも耳にしたことがある企業や高校生が買い物等で日常的に接する身近な企業を取り上げ、当該企業の仕事としての側面を取り上げる ・高校生の企業研究の様子等を取り上げる ・地域に貢献している企業、海外に販路を拡大している企業、日本で唯一の企業など、全国や世界的にも傑出した企業を取り上げる等

岩手でいきいきと働き・暮らす人物紹介	いわての可能性 いわてで働き・暮らす日常	・テレワーク・複業・二地域居住など、岩手に軸足を置きつつ大都会と遜色のない働き方を実践している若者を取り上げる ・岩手暮らしを楽しむ若者を取り上げる 等
岩手の魅力を紹介する	いわての可能性 いわてで働き・暮らす日常	・地元の人が良く行く観光スポット、カフェ、レストラン情報 ・「岩手県民あるあるアンケート」などによる岩手県の優位性の紹介 ・高校生の保護者が、子供の県内就職に対する不安を解消できるようなコーナー ・有識者によるローカル経済の可能性についての寄稿記事 等
岩手へのUターンガイド	いわてで働き・暮らす日常	・移住に係る助成金等の情報 ・県内各市町村の紹介 ・県の移住相談窓口、自治体毎の相談窓口の紹介と誘導 ・就職情報サイト「シゴトバクラシバいわて」の使い方ガイド 等

(カ) 制作・編集

- ① 情報誌等の制作・編集経験がある者が行うこととし、岩手県庁での打合せ又はオンラインでの打合せを3回以上実施すること。
- ② 本情報誌の制作方針の策定、発行（販売）までのスケジュール調整、印刷発注などは、受託者が行うものとし、随時、県と協議の上で行うこと。あわせて、必要かつ適切な人員等体制を整備すること。
- ③ 編集、制作に当たっては、若者が手に取りたくなる、ページを捲りたくなるような工夫を凝らすこと。
- ④ 表紙の装丁に工夫を凝らすなど、販売促進策を企画に盛り込むこと。

(キ) 県への提出・高校への送付

① 本情報誌

無料配付分 37,000 部のうち、令和 4 年 1 月 14 日（金）までに各高等学校及び県内外の大学等（180 箇所程度。各校への配付部数等は県から別途指示する。）へ送付し、残部を県に納入すること。

有料販売分のうち 1,000 部を令和 4 年 1 月 14 日（金）までに県に提出すること。

② ポスター

情報誌表紙のメインビジュアルなどを活用したカラー A 1 サイズのポスターを製作し、200 枚以上を県に提出すること。なお、ポスターは岩手県が県内外で実施するイベント等で活用することを可能とすること。

(ク) 流通・販売

- ① 令和 4 年 1 月 14 日（金）までに販売を開始すること。
- ② 売り込みを含め、県内での流通販売に加え、県外においても本情報誌を入手することができる流通販売方法を提案することとし、実施に当たっては、県と協議し決定した内容に基づき、流通販売体制を整備すること。

(ケ) 委託事業に係る情報誌の販売収入

本委託事業に係る情報誌の販売収入は受託者の収入とする。

(コ) 県の情報媒体等での情報発信

- ① 制作した情報誌の一部を県のホームページ、公式 SNS 等での利用を可能とすること。
- ② 情報誌に掲載する写真等のデータについて、岩手県への雇用創出に繋がると認められる場合、県以外が利用する場合でも無償で利用を可能とすること。
- ③ 県が指定するページについて、県が複製してイベント等で配布することを可能とすること。

(2) 情報誌と連動した企画

ア 費用対効果の高いPR

事業の話題性喚起と有料販売分の販売促進のため、費用対効果の高いPR手法を提案すること。

なお、販売促進のために動画等映像コンテンツを制作する場合は、DVD等の再生可能な電子媒体1枚に編集して保存の上、県に納品すること。

イ 県のポータルサイトとの連動

県の仕事・住居情報などを詳細に紹介するいわて暮らし移住定住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう！」及び県の就職情報サイト「シゴトバクラシバいわて」に誘導する内容を盛り込むこと。

ウ 県内高校生に訴求するための工夫

県内高校生が県内企業を身近に感じることができるよう、2(1)ア(オ)③に記載の仕掛けについて、企画・提案すること。

エ 県内高校生による情報誌の活用

県内高校生が情報誌を活用して自らの将来について考えることができるよう、例えば、上記ウで企業と関わりを持った高校生が通う学校で、雑誌を活用したキャリア教育ワークショップを実施するなど、情報誌の活用に向けた仕掛けを企画・提案すること。

オ 読者アンケートの実施

情報誌による就職意識の変化等の効果検証ができるよう、読者アンケートを実施すること。また、必要に応じてアンケートに係る景品を用意すること。ただし、景品は県産品や掲載企業の商品等、岩手県にゆかりがあるものとする。

(3) 自由提案

その他、若年層の県内就職及び岩手へのU・Iターンの促進につながる、情報誌と連動した企画があれば、提案すること。